

常任委員会 行政視察報告

総務文教 常任委員会

平成30年7月10日(火)～12日(木)

(1) 山口県周南市

★公共施設再配置の取り組みについて

周南市では平成24年10月に周南市公共施設再配置計画(案)を、個別施設の検証結果の一覧表とともに公表したが、パブリックコメント(市民の意見を求める制度)では意見数180件のおお半が反対意見で、市議会では平成25年1月に再配置計画(案)の再考を求める要望決議が全会一致で可決し、市は再配置計画(案)の取り下げを決めた。その後市はこの反省を踏まえ、周南市公共施設再配置の基本方針を平成26年3月に策定し、議会特別委員会を経て平成27年8月に周南市公共施設再配置計画を策定した。

計画の周知にはマンガを活用し分か

りやすい内容となっており、佐渡市も市民への周知を徹底し、その意見を反映させなければならない。



(2) 長崎県吉岐市

★特定有人国境離島特別措置法に基づく施設の推進について
★地方創生推進事業(計画)の全体像、進捗状況について

★離島活性化交付金の活用状況について

★過疎・辺地対策事業債の利用状況について

吉岐市では運賃低廉化、輸送コスト支援、雇用機会の拡充、滞在型観光促進の各メニューがあるが、人口減対策に明確化されていることがわかった。

大手電機機器会社との地方創生連携協定と、それに基づいた仕事の創生と雇用の創出、特にICT関連産業において若者の移住定住を図っている。また島内高校に中国語クラスを設けての島留学を実施し生徒を多く集めている。

佐渡市も積極的に人口減問題に立ち向かう必要がある。

市民厚生 常任委員会

平成30年7月9日(月)～11日(水)

今年度の行政視察先は、医療、福祉

分野で先進的、また充実した実践を行っている自治体および団体として、北海道内の4つの取組みから学んできた。

(1) 北海道留萌市

一つ目の訪問先は、留萌市が主導した農福連携による6次産業化の取り組みで、障がい福祉団体、農家、JA、研究機関などが連携し、廃校校舎と運動場を活用し、ビタミンCを損なわない切り干し大根の製品化、木質固形燃料を活用したビニールハウスで丁寧な育苗作業など、地元の方等との協力による障がいに適した就労支援の機会提供が見事だった。

(2) 北海道岩見沢市

二つ目は岩見沢市で、障害者福祉政策の取り組みと方向性がテーマだった。岩見沢市は健康経営都市「人もまちも元気で健康」を掲げて人口減少の克服と地域経済の活性化を目指している。障がい者施策の推進には、きめ細かなサービスが揃い、また障がい者文化芸



留萌市 地場野菜を生かした農福連携

術活動支援事業として2019障がい者国際芸術文化祭誘致活動の取り組みなどユニークで積極的な取り組みがあり、推進費総額が約30億円という力の入れ方だった。

三つ目の訪問先も岩見沢市にある北海道社会福祉事業団福祉村で、脳性まひなどによる重度身体障がい者が安心して、生きがいを持って生活する場として敷地面積9万6625㎡の中に2万718㎡の施設群で270人が利用していた。この事業団は、北海道内外から福祉村を含め5施設の譲渡を受け、札幌市からの指定管理施設運営、またそれぞれに地域生活支援センターも展開する大規模法人である。

(2) 北海道美瑛町

四つ目は、美瑛町立病院の新改革プランと将来像について。病院の概要で沿革を始め施設、職員、運営状況、改革計画、財政、利用率向上の取り組みなどの説明、そして病院の将来像については、人口動態、高齢化の状況、道内の医療圏構成、医師・看護師不足への対応、地域包括ケアに向けた役割等説明は全て詳細なデータによる現状把握と分析が的確になされており、大変参考になりました。

産業建設 常任委員会

平成30年7月10日(火)～12日(木)

(1) 宮城県南三陸町、

南三陸町では里・森・まち・海の地域ブランド（南三陸ブランド）における産業振興ビジョンと環境に配慮し、持続可能な養殖漁法に対するASC認証、森林に対するFSC認証、農場に対するGAP認証等の国際認証取得の取組について視察を行なった。

南三陸町はカキ養殖におけるASC認証と森林におけるFSC認証をダブル

認証しているが、世界でも2つの認証を取得している自治体は稀であり、注目を浴びている。

合併当初の佐渡市はトキと共生できる島づくりが評価され、先進国初、日本初の「世界農業遺産（GIAHS）」に認定された。しかし、国連が「持続可能な開発目標（SDGs）」を発表してから、世界中で環境・持続可能な取組みが急激に進み、環境に対する佐渡の存在が薄くなっていると感じる中で、先進的な取組みの具体的な内容を聞きたいと思ったのが、南三陸町へ視察に伺った大きな理由である。

視察の一番の成果は後継者不足に悩んでいるカキ養殖を震災後、漁師仲間から批判を浴びながらも持続可能で儲かる

漁法に変えたカキ部会部会長の後藤様、本人から直接話を伺えた事である。

(2) 茨城県石岡市

石岡市では新規就農のための農業&研修施設の取組みについて視察を行なった。廃校になった小学校を活用した朝日里山ファームでは毎年1組のみ研修生を受け入れている。主な応募条件は「45歳以下」「家族で移住」「有機農法を行なう」という、相当の覚悟がなければ応募できない条件となっているが、この研修を受けた卒業生のほぼ全員が農家として独立している。

農家の高齢化が進み、新規就農者を募集している佐渡でも大いに参考になる取組みだと感じる研修であった。



議案等の審議結果一覧

◎は全会一致で可決、○は賛成多数で可決、×は否決、△は継続審査

議案の番号	件名	審議結果
議案第82号	佐渡市ケーブルテレビ放送施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第83号	佐渡市税条例等の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第84号	佐渡市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例及び佐渡市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第85号	平成30年度佐渡市一般会計補正予算(第3号)について	○
議案第86号	平成30年度佐渡市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	◎
議案第87号	平成30年度佐渡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	◎
議案第88号	平成30年度佐渡市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	◎
議案第89号	平成30年度佐渡市下水道特別会計補正予算(第1号)について	◎
議案第90号	平成30年度佐渡市歌代の里特別会計補正予算(第1号)について	◎
議案第91号	平成30年度佐渡市すこやか両津特別会計補正予算(第1号)について	◎
議案第92号	平成30年度佐渡市病院事業会計補正予算(第1号)について	◎
議案第93号	平成30年度佐渡市水道事業会計補正予算(第1号)について	◎
議案第94号	平成29年度佐渡市一般会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第95号	平成29年度佐渡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第96号	平成29年度佐渡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第97号	平成29年度佐渡市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第98号	平成29年度佐渡市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第99号	平成29年度佐渡市小水力発電特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第100号	平成29年度佐渡市歌代の里特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第101号	平成29年度佐渡市すこやか両津特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第102号	平成29年度佐渡市五十里財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第103号	平成29年度佐渡市二宮財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第104号	平成29年度佐渡市新畑野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第105号	平成29年度佐渡市真野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	△
議案第106号	平成29年度佐渡市病院事業会計決算の認定について	△
議案第107号	平成29年度佐渡市水道事業会計決算の認定について	△
議案第108号	平成30年度佐渡市一般会計補正予算(第4号)について	○
請願第3号	「学費と教育条件の公私間格差は正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願	◎
請願第4号	佐渡汽船寺泊-赤泊航路(両泊航路)運航継続を求める請願	△
平成29年陳情第6号	両津文化会館の改修による存続についての陳情	×
陳情第5号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情	△
陳情第6号	原発再稼動にあたって佐渡市の安全な避難方法を求める意見書の提出に関する陳情	◎
陳情第7号	佐渡市建設計画につながる合併特例債の有効活用についての陳情	◎
陳情第8号	合併特例債による新庁舎建設住民投票の実施に関する陳情	○

◇賛否等の内訳 上表の賛否の分かれた議案(網掛け)について、議員別に賛否等を公表します。

議案等の番号	議決結果	賛否の別		新生クラブ					政風会			政友会		日本共産党市議団		市政会	地域政策研究会		公明党	国民民主党	無会派		議長 猪股文彦
		賛成	反対	広瀬大海	上杉育子	駒形信雄	金田淳一	佐藤孝	北啓	室岡啓史	中川隆一	坂下善英	岩崎隆寿	中川直美	中村良夫	竹内道廣	渡辺慎一	祝優雄	山田伸之	近藤和義	宇治沙耶花	荒井眞理	
85	可決	16	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	△
108	可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	△
H29陳6	否決	5	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	○	●	●	△
陳8	可決	10	9	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	○	●	●	△

※ ○は賛成、●は反対、退は退席、欠は欠席。なお、議長は採決に加わらない。

臨時会議案等の審議結果一覧

◎は全会一致で可決、○は賛成多数で可決、×は否決、△は継続審査

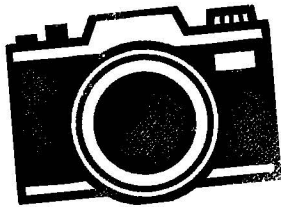
議案の番号	件名	審議結果
議案第81号	佐渡市ケーブルテレビ施設羽茂地区改修工事第1期請負契約の締結について	◎

◆議会の動き

年	月	日	内 容
平成30年	7月	3日	総務文教常任委員会
		9日	市民厚生常任委員会行政視察 (～11日 北海道留萌市、岩見沢市、美瑛町)
		10日	総務文教常任委員会行政視察 (～12日 山口県周南市、長崎県壱岐市)
			産業建設常任委員会行政視察 (～12日 宮城県南三陸町、茨城県石岡市)
		13日	議会報編集特別委員会
			議員全員協議会
		23日	議会報編集特別委員会
			姉妹都市・入間市・議会交流(～24日)
		25日	議員全員協議会
		26日	姉妹都市・国分寺市・議会交流 (～27日)
		30日	議会運営委員会
	8月	1日	第6回(8月)臨時会
		20日	行財政改革に関する調査特別委員会
		21日	産業建設常任委員協議会
		24日	総務文教常任委員会
			市民厚生常任委員協議会
		28日	新潟県市議会議長会議員研修及び情報交換会(長岡市)
		29日	議員全員協議会
	9月	4日	議会運営委員会
		7日	第7回(9月)定例会(～27日)

◆行政視察の受入状況

年	月	日	内 容
平成30年	7月	9～10日	東京都昭島市(三大遺産PR・誘客促進人材育成事業、廃校の利活用)
		12日	茨城県日立市(三大遺産PR・誘客促進人材育成事業)
			山形県真室川町(空き家対策事業、環境保全型農業及び産業振興の取り組み)
		18日	宮城県宮崎市(世界農業遺産及び環境保全型農業の取り組み)
		20日	東京都目黒区(地域医療ネットワーク「ひまわりネット」、元気な地域づくり支援事業)
		23～24日	埼玉県入間市(議会運営)
		25日	長野県駒ヶ根市(黒豚農場の放牧養豚の経過と行政の関わり)
		25～26日	神奈川県(観光振興の取り組み、スポーツイベントの取り組み)
		26日	長崎県佐世保市(三大遺産PR・誘客促進人材育成事業)
		26～27日	東京都国分寺市(高齢者を支える地域と行政の役割、歴史的遺産と文化財の保存と継承)
		31日	埼玉県春日部市(地域医療ネットワーク「ひまわりネット」)
	8月	21日	長崎県長崎市(佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた取り組み)
		28日	福島県両沼地方町村議会議長会(朱鷺認証米の今後の方向性、世界農業遺産の取り組み)
		29日	東京都大田区(空き家対策及び活用の取り組み)



佐渡市議会だより 表紙写真 大募集

市民の皆様が親しまれ、議会をより身近に感じていただけるよう、佐渡市議会だよりの表紙写真を募集しています。



【応募資格】 佐渡市内に在住、在勤、在学の方

【募集作品】 ○撮影場所 佐渡市内で撮影したものに限りです。

○応募点数 応募は1人、1回につき3点までとします。

○被写体 四季折々の風景、まつり、学校行事、地域行事等の各種イベント（人物、風景は問いません）

○規格等 デジタル写真データ（5MGまで）で提出いただくものに限りです。

【応募方法】 応募用紙に、撮影者の氏名、住所（市外在住で市内に在勤、在学のされている方は、会社名か学校名も記載）、連絡先、撮影場所、撮影時期、写真のタイトル（10文字以内）を記載のうえ、佐渡市議会事務局までメール（gikaidayori@city.sado.niigata.jp）にて送付または、USB、CD等で郵送もしくは持参してください。

応募用紙は、佐渡市議会のホームページからダウンロードしていただくか、佐渡市議会事務局までお問い合わせください。

【応募締切】 次号（平成31年2月発行）の締切は平成31年1月4日(金)です。

※詳しくは、佐渡市議会ホームページまたは佐渡市議会事務局まで

編集 後記

7月豪雨、北海道胆振東部地震などで、被災されました方々にお見舞い申し上げます。

佐渡市においても記録的な猛暑が続き、夏の干ばつ、台風21号での被害、その後、片付けに追われる中で、台風24号、25号が発生し、建物や道路だけでなく、農作物への被害も大きなものでした。

「雨の欲しい時には雨はなく、収穫直前に続く台風。自然が相手ではどうすることもできない。」と憂いの声。

今定例会では農地・農業用施設災害復旧事業が予算計上されました。

これからの佐渡の農業、守るだけでなく、さまざまな課題解決に向け、市民・行政・議会が一体となっていきたいものです。

上杉 育子

議会の傍聴に お越しく下さい

議会の本会議は公開されています。議場の受付で住所・氏名などを記載していただくだけで、どなたでも自由に傍聴できます。お気軽にお越しください。

議場は佐和田行政サービスセンター3階、傍聴席は4階です。

なお、議会の本会議の日程については、議会事務局へお問い合わせください。